平成30年度事務事業実績評価表 1 事業概要 課名 環境モデル都市推進課 事業No. 151											
1 7	未颁女				会計	一般会計	于未110.	101			
	事務事業名	ISO14001推進事業			事業区分	政策	実施区分	継続			
					開始	H9	終了				
	主要区分	主	記号	計画等名称							
根拠	戦略計画		10 豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる								
	分野別計画		飯田市環境基本計画(21 ′ いいだ環境プラン)								
			第2次飯田市環境モデル都市行動計画								
			飯田市役所地球温暖化防止実行計画								
	法令・例規等		地球温暖化対策の推進に関する法律								
			長野県地球温暖化対策条例								

南信州地域の事業所、教育機関、一般家庭

対象

事业 口	66	V.) SV	111111111111111111111111111111111111111		松 闩 "成 法"、 ""	XXXX							
事業目	HJ F	意図	事業所は、ISO14001「南信州いいむす21」などの環境マネジメントシステムに、教育機関は、教育に特化した地域独自の環境マネジメントシステムに取り組む。また、一般家庭は、省エネ活動に取り組む。										
2 事業内容													
5 7141 5				取組内容				経費		事業費(千円)			
	飯田市	のIS014001	lの運用	月は、内部監査結り	果を踏まえ、9	月にI	ISO140	001推進			604		
	S01400	1:2015年版	に移行	うしました。									
		1 7 100		トシステム「南信州	いいむす21」を	より							
	_ , , , ,			10月1日にリリー									
	P			より、環境一斉行									
30年度				環境改善行動に繋り	/ I I								
取組				き学校のいいむする		***							
	47 . 1 4 1024		, -	を行っている「エコ		-							
			.— .	リングを開始しまり		~~,							
				会として環境一斉	-	可実施							
	しまし		1917		1133721.10	J) (#B					0		
							その他の経費						
	指標名 (数値で表せる活動量)				単位	単位 平成2		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
						実	績	実績	実績				
	南信州	いいむす2	1訪問	支援事業所数	件		0	26	-				
	南信州	ハいむす21	₿₿	・継続審査事業所数			24	20	17				
活動指標	「CO2	削減一斉行	動週間	りょう りょう りょう りょう りょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう し	回		3	3	3				
/口玉//1日1示	ISO推進	₺に係る外	部研修	派遣	人	7		8	12				
	相互内	部監査員数	ζ		人		70	84	135				
	環境マ	ネジメント	システ	ム審査員補資格取得	得人				1				
		予算額		616		特定財源内訳及び補足事項							
		決算額		604									
30年度		国庫支出	出金	0									
決算	財源の	県支出金		0									
(千円)	財源の 状況	地方債	地方債 0										
	1人/兀	^{人元} その他		0									
		一般財源	京	604									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	16	1	616	604	環境マネジメントシステム普及事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振返	南信州いいむす21は、審査対応者が限られてきており、今後取組み事業所が増えてきたときの審査が対応できない状況が懸念されます。また、南信州いいむす21に取り組むメリットを整理し、分かりやすく示していくことが必要です。高校での環境マネジメントシステムの取組みは、環境方針、環境目標の達成に向けた取組みについて協議をしていくことが必要です。家庭への取り組みは徐々に広がりを見せ始めています。この流れを維持、拡大していくことが必要です。								
	上記の課題解決 のための有効策 のための有効策 、取り組み内容を工夫し、実質的な環境改善活動となるよう地域ぐるみ環境ISO研究会で協議します。家庭への取り組みは 、取り組み内容を工夫し、実質的な環境改善活動となるよう地域ぐるみ環境ISO研究会で協議します。								
	次年度に向けて の取り組み お。 高校は、ヒアリングを継続しつつ、県の教育委員会の狙いを実現できるよう関係性を構築します。家庭への取り組みは 、環境団体との連携を密にし、新たな取組み事業所に呼びかけを行います。								